

黄金色に実るまで



ガアアツザアアツ……。10月9日、待ちに待った稲の収穫の日。秋空にコンバインのエンジン音が響き、黄金色に実った稲が刈り取られていく。

稲作農家にとって、稲刈りは1年の集大成といえる特別な仕事だ。キヌヒカリを育てた南里久雄さんの顔が充実に輝いた。

田んぼの春から秋

1~5面… 特集 平塚の稲作…黄金色に実るまで	平塚市の人口と世帯数 <平成23年10月1日現在()内は前月比>	◎発行/平塚市 ◎編集/広報・情報政策課 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 tel 0463-23-1111 fax 0463-23-9467 http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/
6~7面…募集・お知らせ・健康と福祉・スポーツ	人 口 259,492人…(-18)	
8面…ヒラツカルチャー「今、会いたい作品」	世帯数 106,054世帯…(+63)	
▶▶議会だよりを折り込んであります。▶▶▶		

特集 平塚の稲作

深紅のクリムソクローバーから黄金色の稲へ……。平塚市金田地区の田んぼは、半年でがらりと表情を変える。

北に大山、西に富士山、南に湘南平を望む田園地帯の金田地区。そこで稲作を営む南里久男さんの、春から秋を追った。



5月4日みどりの日。薄曇りの空の下、農産物を直売するあさつゆ広場や、県の植物園・花菜ガーデンから流れてきた人たちが田んぼの周辺をのんびりと歩く。彼らを引き寄せているのは、田んぼを覆う紅色のクリムソクローバー(上写真)。イチゴに似た色と形から「ストロベリーキャンドル」とも呼ばれる。米だけでなくイチゴの生産も盛んな金田地区にはびっぴりの花だ。

「この時期は花がきれいに咲いているからね。天気によければ、丹沢

田を彩るクローバー

田んぼを潤す春

だけでなく富士山まで見えるんだ。写真を撮っていく人もいるよ」と田んぼの持ち主の南里さん。富士山が一望でき、広大な田園風景が広がる周辺は、国土交通省の「関東の富士見百景」にも選ばれている。

美しく咲いた花は単に人々の目を楽しませるだけでなく、緑肥になるという実用的な役割もある。以前はレンゲがその役割を果たしてきたが、外来種の害虫、アルファルファタコゾウムシから大きな被害を受けてしまったため、クリムソクローバーが取って代わったのだという。

「ゴールドデンウィークが明けたら、田んぼの土にすき込んで肥料にする



手塩にかけて育てられたキヌヒカリ。夕日を受け、もみ一粒一粒が黄金色に輝く。9月29日、寺田縄で。

んだよ」本格的な米作りが始まる夏が近づいていた。

田が観光スポットに

クリムソクローバーには、もう一つの側面がある。市農水産課の嶋崎和栄さんは「この美しい景色は、農家の方と市が協力して作っているものなんです」と話す。

金田地区周辺は「ひらつか花アグリ」といい、花菜ガーデンやあさつゆ広場、市民農園のマイ菜ファームなどの施設が集中している場所だ。そもそも金田というのには「水田地帯の豊熟の金波」にちなんで、明治22年の合併で生まれた村の名前だという。米作りに縁の深い土地なのだ。「ひらつか花アグリは、平塚の

金目川沿いには水田が広がる



米どころ平塚、2つの特徴



上吉沢にある県農業技術センター普及指導部の渡辺泰光さんに平塚の米づくりを聞きました。

平塚市の米の生産量は県内1。金目川や相模川などの水の恵みを受け、キヌヒカリを多く作付けているのが特徴です。

きれいな水が決め手

「水がきれいだとおいしい米ができる」と言われますが、秘密は水中の窒素にあります。窒素が多いと米のたんぱく質含有量が多くなり、その結果食味が低下してしまいます。農家の方が「金目川の水でできた米はおい

しい」というのは、水がポイントなのではないでしょうか。

圧倒的にキヌヒカリ

県ではキヌヒカリやさとしまんなどを奨励品種としています。キヌヒカリは昭和63年生まれで、県の奨励品種になったのは平成元年です。生産量は全国6位。早生で育成期間が短く稲が倒れにくい特徴があります。コシヒカリを神奈川県で育てると、気温や

水の条件から背が伸びすぎて倒れやすくなってしまいます。そこで、味がよく倒れにくい品種として開発されたのがキヌヒカリです。交配の一方の親はコシヒカリで、味はコシヒカリ並みに甘く粘りがあります。色はコシヒカリよりも白く、輝きがあります。農協の育苗シェアを見ると、平塚市全体のおよそ9割がキヌヒカリです。平成16年生まれのさとじまんは1割ほど。長年作り慣れたキヌヒカリに人気が集中していますね。

「農業を見て、学んで、触れて、買って、食べて、満喫できる場所なんですよ」

ひらつか花アグリの魅力を多くの人に伝えるため、地元農家と市が協力して、農業体験などさまざまな取り組みを展開している。その一つがクリムソクローバーを植える、花のある景観づくりだ。

赤いじゅうたんは、ひらつか花アグリで生きた観光スポットとして活用されていた。

種もみをまき苗作り

5月22日、日曜日。午前8時20分、薄く雲が混じる空の下、田んぼに近い倉庫の前に南里さんと親戚の男女計6人が集まっていた。今日は苗作りの第1歩、みんなで育苗箱に種もみをまくのだ。

「最近では全部機械でする家もあるんだよ。うちは昔ながらのやり方だけどね」。南里さんが種もみと土の準備を進めていく。

まず横60センチ・縦30センチの育苗箱を地面に1列に並べる。200個の箱が並び、60センチ近い長さになった。小さな手押し車のような種まき機(左写真)を南



足を踏ん張り勇さんが土を補給する



「せえの」「よいしょ」荷車で運ぶ

里さんが押し、その横でいこの南里勇さんが20キロの土袋を握り、育苗用の土を補給し続ける。

「久雄さんの米を毎年楽しみにしているから、せめてこれくらいは手伝わない」と足を踏ん張り、張り切る勇さん。土を敷いたらホースで水をかけ、同じ手順で種もみ、土、土と重ねる。

水を吸った200個の育苗箱を、手分けしながら荷車で運び、倉庫の横に集める。全ての育苗箱に暖かい空気が行き渡るよう、箱同士の間隔を約3センチずつ開けて50センチほどの高さに積み上げた。全体を遮光シートで覆い、あとは水分や温度を管理しながら発芽を待つ。

「上の箱と下の箱じゃ苗の育ち方が違ってくるんだけど、田植えのこ

ろにはみんなちゃんと育つから問題ないよ」と南里さん。

川をせき止め水門へ

6月4日、土曜日、快晴。からりとした青空が南里さんの顔を曇らせる。「こりゃあ、せきに水がたまると時間がかかるなあ」。金目川の乾いた河原をのぞき込み、南里さんがつぶやいた。

稲作に水は欠かせない。金田地区の稲作を支えるのは金目川の水だ。今日は田んぼに水を入れるため、金目川をせき止めて水路に流す。飯島の歩道橋のすぐ南にある飯島せきと水門を管理するのは、金目川沿岸水利組合だ。午前9時、南里さんたち4人の役員が集まった。

「金目川にあるせきで機械式なのはここだけだよ。上流では、砂利や土のうなんかを使って水をせき止めるんだ」と南里さん。「上流で機械を使われると、下流に水がこなくなってしまうからね」。

午前9時10分、水門の手前にあるスイッチを入れるとせきの扉が徐々に下がり、5分もたたないうちに川をせき止めた。じわじわと下流の水



水がせき止められ下流の水量が減る

量が減る。跳ね上がった稚アユが居合わせた釣り人にすくい上げられ、格好の獲物となっていた。

恵みもたらす金目川

「飯島せきは、昔あった九か郷せきとその下流にあった、10カ所ほどの小さな取水せきをまとめたものなんです」

博物館の浜野達也学芸員が説明する。九か郷せきとは、広川・公所・入野など九つの村が利用していたせき、という意味で、現在の広川と旭地区・金田地区を潤していた。昭和27年〜29年に、県の金目川用水改良事業で整備され、今では水が行き先を分ける分水工から金目川の左岸と右岸に水が送られている。

「1カ所で取水をして、水路を分けて水を送ること、水の管理が安定してできるようになりました。金田の米作りの基盤になっていきます」
金目川から流れたのは水だけで



「ポンプの調子はいいね」

金目川沿岸水利組合の役員5人が飯

ポンプで水を再活用

6月8日、水曜日。小雨が降る中、島補給水ポンプ場に集まった。飯島せきから直線距離で約1・5キロ北の位置にある。「余った水も、無駄なく利用しているんだよ」と南

米づくり体験隊

田植え・草取り、ひえとりといった米作りを、半年かけて体験する「米づくり体験隊」。南里さんら、金田地区で米作りをする経験豊かな農業者の会「ハツパ会」が6年前に始めた

事業だ。6月18日、約20家族がキヌヒカリの田植え作業を体験した。
1年目から毎年欠かさず参加している松風町の小室喜雄さんは、「なかなかこういう体験はできませんよね。子どもが食べ物のありがたさを学ぶ、いい機会になっています」という。収穫後、10月23日に新米を食べた妻の久仁子さんは「玄米を土鍋で炊いて、香ばしさとふっくらした食感を楽しみました。子どもも匂いがいいよね」と喜んでいましたよ。来年も参加したいですね」と声を弾ませた。



参加者らが田植え後の泥んこの足で、あぜを行進する



稲の成長 5〜10月

5/26 発芽。薄黄色の芽が顔を出す。

5/22 種まき。病気予防のため湯温消毒されたもみ。

続4面に

里さん。金目川の左岸の水は自然の勾配で北東へ流れる。鈴川の南に掘られた排水路の水をポンプで吸い上げて、金目川の方に水を送り返す。

南里さんたちは排水路に面した吸水口を掃除し、ポンプ場の内部の機械を動かした。ゴゴゴ……という低い音とともに排水路の水面が下がり、

役員らがほっとした表情を見せた。作業を終えて帰る途中、ポンプ場と南里さんの田んぼを結ぶ細い水路が水であふれていた。

しろかきで輝く水田

6月13日、月曜日。小雨模様。南里さんの田んぼが水で満たされた。土が広がり、まるで野菜畑のようだった田んぼが、わずか数日でぐつと水田らしくなってきた。

「しろかきは田植えの直前にするんだよ」。水田の土を平らにならす、大切な作業だ。

トラクターの後ろにしろかきハローという専用の爪を付け、土を細かく砕く。



しろかき後、土と水をかき混ぜ表面を平らにし、苗を植えやすくするのだ。キヌヒカリを育てる

3枚の田3反(約30ア)を今日1日で仕上げる。いつしか雨もやみ、南里さんは黙々とトラクターを操作する。平らにならされると、鏡のよう

田植えで描く苗の筋

に輝く水面にトラクターが映り込む。1反当たり30分ほどで仕上げた。

翌6月14日、火曜日。薄曇り。

倉庫の横で育てた苗を田植機に運びながら、南里さんは苗の出来をあらためて確認した。「例年並みに育ったね。保温を長めにしたから、少し長くなっているかな」。

苗が長くなっているのは狙い通りだ。「苗は

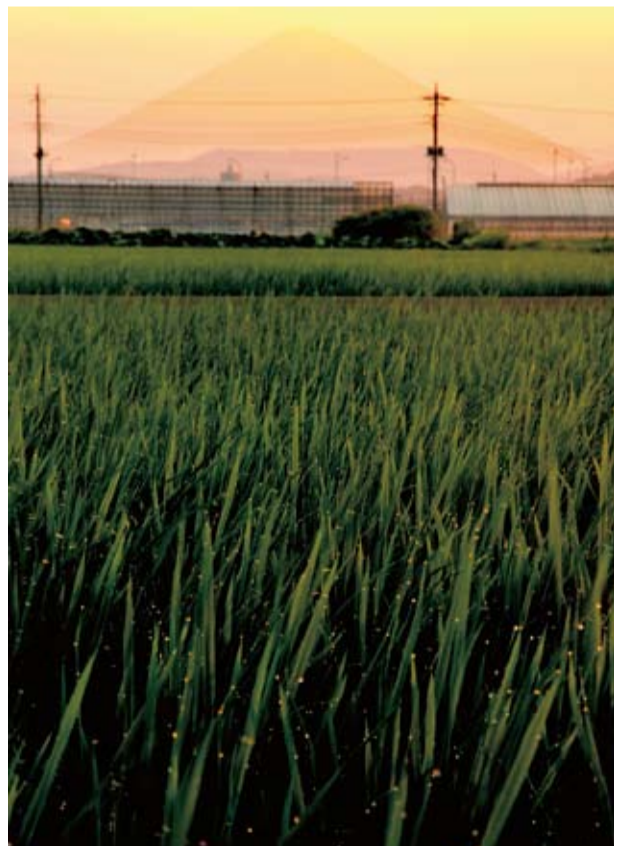
最初に伸ばしておくのが肝心なんだよ」。順調に育った苗の根がしっかりと絡み合い、芝生のマットのように四角く固まっている。

田植えと同時に除草剤をまく。田植機の後ろに除草剤の散布機もセット済み。「植えたばかりの田んぼに入らなくてもよくなるし、農作業も楽になるからね」。苗のマットを田植機の後ろに、予備の分は運転席の両側に積んだ。

準備が整い、運転席上がった南里さん。倉庫から田んぼまでの道ののんびりと運転する。田んぼに着くと、手慣れた動きで田植えを始めた。田植機の後ろに付く「手」のような植え付け爪がマット状の苗を3本ずつつまみ、5列ずつ30アの間隔で植えていく。規則的に苗が減っていく、足りなくなると田植機が警告音を鳴らし、前を向いて運転する南里さんに伝える仕組みだ。

日差しにきらめく水面を滑るよう

生命にぎわう夏



穂先が輝く奥にはかすんだ富士山が見える

に田植機が進む。南北に往復するたび、水田にきれいな苗の筋が現れた。30分ほどで1反を植え終わった。「最後の角が大変だったけど、順調に終わったかな」

生き物が集まる水田

田植えが終わると稲作の作業も一段落。田園地帯から人影が減り、生き物が集まってくる。



あぜのそばにはザリガニやオタマジャクシ、ドジョウが潜む。それを食べに降り立つサギ。コサギやチュウサギといったいわゆるシラサギ(市民の鳥)が飛び交う水田もあれば、大きなアオサギが熱心に水面をつつく水田もある(写真)。

夜になれば、カエルの合唱が響く。そのにぎやかな声の直前、夕暮れの

中に一瞬の静けさが訪れた。稲の葉の先に水分がたまり、夕日を受けて輝く。

夕焼けに染まる富士山を見に訪れた人が気付くかもしれない、小さく静かな輝きだ。

7月24日から1週間、南里さんは田んぼの水を抜く中干しをした。「田んぼに地割れができて酸素が入るから、根の働きが活発になるんだよ」。田んぼの中が歩きやすいうちに、草刈りやひえとりを済ませた。しかし気がかりな点もある。

「放射能は心配だよ。だけど、今は大きな台風が来ないので祈るだけだよ」

放射能検査に一安心

米1粒汗1粒というが、今年のは心配の種も1粒根を下ろした。原発事故の端を発した放射能問題だ。

9月に入り、神奈川県、そしてJ A湘南の相次ぐ検査で、市内の米へ



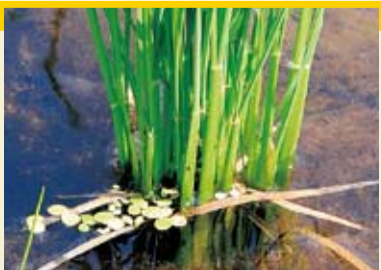
9/6

もみに少し黄色が混ざってきた。



8/19

出穂。花が咲き終わった。あとは色づくのを待つ。



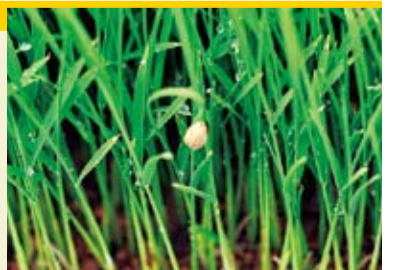
7/5

分けつ。茎の根元から、さらに新しい茎が出てきた。



6/14

田植え。根がしっかりと絡み合う。



6/8

青々とし、苗らしくなってきた。

平塚で米を体感

新米を召し上がれ

JA湘南あさつゆ広場

湘南地域の平塚市・大磯町・二宮町で生産されたキヌヒカリとさとじまんを「湘南そだち米」として販売しています。

キヌヒカリは4.5kgで1,600円です。玄米は1kgで320円で、3分・5分・7分・標準・クリーン(無洗米)の5段階から精米の度合いをお好みで選べます。



寺田縄424-1。営業時間は夏期(3月~10月)午前9時~午後6時、冬期(11月~2月)午前9時~午後5時。毎週水曜日と年末年始は休み。☎59-8304

米作りで地域交流

かな花菜ガーデン

「花菜ガーデンでは、県の推奨品種のキヌヒカリやさとじまんなどのほか、古代米も栽培しているんですよ」と広報の松井二葉さん。「かかし作りは、近くの県立平塚養護学校の生徒さんに手伝っていただきました。今年の稲刈りは、地元の幼稚園児や小学生の参加が多かったですよ。刈った稲を自然乾燥するのですが、古代米は飛び抜けて長いので、驚かれる方もいますね」と微笑んだ。



寺田縄496-1。営業時間は3月~10月は午前9時~午後5時、11月~2月は午前9時~午後4時。年末年始は休園。入園料大人500円ほか。☎73-6170



田植えは稲作農家の一大行事だ。田植えの後にはきれいな苗の筋ができた。

台風15号で被害発生

一方で、南里さんのもう一つの心配、台風は現実になってしまった。沖縄周辺で迷走していた台風15号が突如進路を変え、9月21日に湘南地域を襲ったのだ。平塚には午後5時頃に最接近したが、一時は風速40m/sを超える強風が押し寄せた。一面の田園地帯で風を遮るものがほとんどない金田地区でも、暴風雨が5時間ほど続いた。あちらこちらの田んぼで稲穂が波打ち、ついには倒れていった(下写真)。



もみの山の高さが増していく

収穫は1年の集大成

10月9日、日曜日。雲の合間に時折青空が顔をのぞかせる。水の恵みと南里さんの愛情を受けて育ったキヌヒカリが黄金色に実った。収穫を迎えた南里さんの顔は晴れやかだ。「今年は稲の成長がちょっと遅れたけど、いい出来だよ」と笑みがこぼれる。心配していた稲の傾きも、「このくらいだったら機械が使えるから、問題ないよ」。

豊かな実りの秋

コンバインに乗った南里さんが、周りから中心に向かって反時計回りに稲を刈っていく。「これ1台で稲刈りから脱穀までできるんだよ。後ろにはタンクが付いていて、脱穀したもみをためておくんだ」。タンクにある程度の量がたまったら、水田の脇に止めたトラクタの荷台に、オーガというパイプを通してもみを移す(左上写真)。水田を周回するごとにトラクタのもみの山が大きくなっていった。脱穀と同時に稲わらを細かく切断し、水田にまく。水田にすき込まれ、来年の肥料となるのだ。作業の手を休めて、笑顔を見せる南里さん。「収穫は1年間の集大成。今年もおいしいお米ができた、という喜びを感じるよ」。



強烈な台風15号に稲がうねる

今年(約500kg)を収穫できた。豊かな実りの秋となった。



おいしいお米が
できました。



10/9

収穫。稲穂も枝梗もきれいな黄金色になった。



9/15

もみは黄金色に近づいたが、枝梗はまだ緑色だ。



募集

市の車に広告を出しませんか

ワンボックス軽自動車15台の両側に縦50センチ・横70センチの特殊フィルムで貼ります。平成24年2月1日(水)〜平成25年1月31日(木)に掲載します。5台分10万円。作成・貼付・撤去の費用は広告主の負担です。
① 申込書と広告案を11月24日(木)までに財産管理課 ☎21-8763へ。

講座「放射能汚染と食の安全」

12月3日(土)午前10時〜正午
市民活動センター。40人(抽選)。
① 電話・メールで、**必要事項**を、11月18日(金)までに、**市民情報・相談課** ☎20-5775(joinhou@)へ。

ほおづきアート教室

11月18日(金)午後1時〜3時30分。
リサイクルプラザ(四之宮7-1)

募集

3-5。15人(先着順)。タオル。200円。
リサイクルプラザ ☎51-5301

くるりんまつりフリーマーケットの出店希望者

フリーマーケットを12月3日(土)にリサイクルプラザで開きます(雨天中止)。飲食物・生き物・電気製品などは販売できません。市内在住の方15店(抽選)。500円。
① 往復はがきで、**必要事項**・販売する品物・搬入手段を、11月14日(月)までに、〒254-0014四之宮7-3-5リサイクルプラザ ☎51-5301へ。

国際支援ワークショップ講座

海外支援の実体験などを話します。
11月19日(土)午前10時〜正午
市民活動センター。30人(先着順)。
① 電話・ファクス・メールで、**必要事項**を、**市民活動センター** ☎21-

75-17 FAX 22-3701 hirasc@mbsc-net.ne.jp。
75-17 FAX 22-3701 hirasc@mbsc-net.ne.jp。

(月)までに、〒254-0041 浅間町12-41 青少年課 ☎32-7029 FAX 31-1441 seishonen@)。

就労支援相談

11月23日(祝)午後1時・2時・3時・4時・5時からの5回、各50分。勤労会館。市内在住・在勤の方5人(先着順)。
① 産業振興課 ☎21-9758

ガイドと巡る平塚の文化資源

土屋の史跡・文化(東部)コース。
11月20日(日)午前9時〜11時30分。
当日午前の降水確率50%以上の場合、27日(日)に延期。神奈中「土屋橋」バス停に集合。300円。
① はがきで、コース名・**必要事項**を、11月13日(日)までに〒254-0051 豊原町2-21 社会教育課 ☎35-8124へ。

クリスマス子ども英語教室

12月3日〜24日の土曜日、午後1時30分〜2時30分、全4回。青少年会館。小学校3・4年生20人(抽選)。
① 筆記用具。
② はがき・ファクス・メールまたは直接、教室名・**必要事項**・学年・過去の参加経験の有無を、11月14日

市民病院



カテーテルで心臓を治療
苦しい「どきどきする」「一瞬意識がなくなった」などの症状がありましたら、すぐに循環器内科を受診してください。

循環器内科医は問診で診断し、心電図や血液検査、心臓超音波検査などを行い総合的に治療方針を決めます。高血圧、糖尿病、脂質異常症などいわゆる生活習慣病や喫煙習慣が心臓病の原因であることを忘れないでください。まずは禁煙を！

市民病院 ☎32-0015

すこやかサポート

循環器内科

市民病院では、循環器内科と心臓血管外科が合同で心臓病を担当しています。心臓血管外科は胸をメスで切って治療をしますが、循環器内科では飲み薬や点滴、カテーテル、ペースメーカーなどのさまざまな手段で治療します。

心臓病の中で、心臓の筋肉が死んでしまう急性心筋梗塞は、放置すれば3〜4割が命に関わります。心筋梗塞の前兆として、「胸が苦しかったけれども、すぐに良くなってしまった」ということがあります。これは心臓の血管が詰まりかかっているときに起きる症状です。症状が良くなったとしても、受診するのはこの時なのです。

「胸が締め付けられる」「息が

応募方法

① 問い合わせ ② 応募方法
必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。

市役所への郵便物は、〒254-8686 平塚市役所〇〇課で届きます。募集開始日の記載がない場合、11月7日(月)午前8時30分から受け付けます。

① 以下 city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください。

記入例

郵便番号 住所 氏名 電話番号 全員の氏名 電話番号 各イベントの必要事項

近で防火キャンペーンをします。

予防課 ☎21-9728

平成23年分の年末調整等説明会

11月10日(木)午後2時〜3時50分。中央公民館。用紙は午後1時配布。
市民税課 ☎21-8766

八幡山の洋館で音楽演奏会

初日はクラシックを演奏します。
11月5日(土)・6日(日)、午前10時〜午後5時。旧横浜ゴム平塚製造所記念館(浅間町1-1)。
社会教育課 ☎35-8124

JA湘南ひらつかふれあいセンター

11月12日(土)午前9時30分〜13日(日)午後3時。総合公園。
農水産課 ☎35-8102

湘南ひらつかふれあいマーケット

11月20日(日)午前7時〜8時30分
朝市

JA湘南ひらつかふれあいセンター

11月20日(日)午前7時〜8時30分
朝市

11月20日(日)午前7時〜8時30分
朝市

若者たちの祭典 浅間祭

ステージ発表や展示をします。
11月12日(土)午前10時30分〜13日(日)午後3時30分。青少年会館など。
青少年課 ☎32-7029

ひらつか民俗芸能まつり

人形浄瑠璃芝居、甚句と囃子太鼓の2部構成です。
11月13日(日)正午開場。中央公民館。
社会教育課 ☎35-8124

心配事は相談しましょう

サンデー青少年相談
11月6日(日)午前10時〜午後6時30分。相談は来室(市民センター2階青少年相談室)か、電話 ☎34-7311。本人や保護者からの心、

火の取り扱いに注意しましょう

11月9日(水)〜15日(火)に秋の全国火災予防運動を展開します。10日(木)午後5時30分から平塚駅北口付

美味花市 農産物などを即売

バター作りや牛の乳搾りもします。
11月6日(日)正午〜午後4時(売り切れ次第終了)。総合公園。
農水産課 ☎35-8103

インターネット公売

絵画や陶器などを公売します。入札参加の申込期間は11月4日(金)〜17日(木)、入札期間は25日(金)午後1時〜27日(日)午後11時。詳しくは

中学校の入学説明会

来年4月に市立中学校に入学するお子さんの保護者を対象にした入学説明会を11月中に開きます。お問い合わせは各中学校へ。
学務課 ☎35-8118

お知らせ

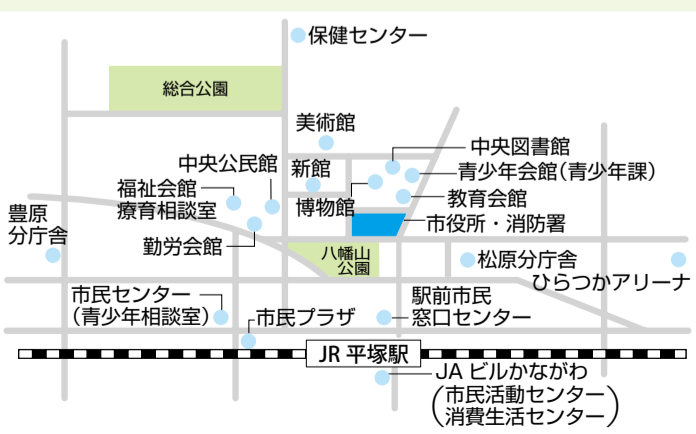
市のウェブをご覧ください。
市税総務課 ☎21-8769

お知らせ

市税総務課 ☎21-8769

お知らせ

市税総務課 ☎21-8769



ノ配事。
ナイトヤングテレホン相談
11月7日(月)～11日(金)、午後6

健康と福祉

「口腔機能の低下とその予防」の講演会
11月10日(木)午後1時30分～3時

介護予防事業の委託先を募集
元気づくり高齢者介護予防運動教室

健康推進員がウォーキング講習
12月1日(木)午後1時30分～3時

健康づくり教室
中央公民館。市内在住・在勤の方を対象。先着順。

「口腔機能の低下とその予防」の講演会
11月10日(木)午後1時30分～3時

時30分～9時。☎33-7830。本
人から学校や友人関係のこと。

スポーツ

転倒骨折予防教室
12月5日～平成24年1月30日の月

JBL 東芝レイブサンダー
のホームゲーム
11月12日(土)午後3時開始。

市民・大学スポーツ交流フェスタ
12月4日(日)。総合公園。

「高齢者の目の悩み」の講演会
12月8日(木)午後1時30分～3時

「うつ病の精神家族教室」
11月15日(火)午後2時～4時。

「高齢者の目の悩み」の講演会
12月8日(木)午後1時30分～3時

「うつ病の精神家族教室」
11月15日(火)午後2時～4時。

「高齢者健康・教養講座」タンベ
ル体操
11月21日～12月19日の月曜日、午

「高齢者健康・教養講座」タンベ
ル体操
11月21日～12月19日の月曜日、午

「高齢者健康・教養講座」タンベ
ル体操
11月21日～12月19日の月曜日、午

「高齢者健康・教養講座」タンベ
ル体操
11月21日～12月19日の月曜日、午

「高齢者健康・教養講座」タンベ
ル体操
11月21日～12月19日の月曜日、午

「高齢者健康・教養講座」タンベ
ル体操
11月21日～12月19日の月曜日、午

「高齢者健康・教養講座」タンベ
ル体操
11月21日～12月19日の月曜日、午

「高齢者健康・教養講座」タンベ
ル体操
11月21日～12月19日の月曜日、午

「高齢者健康・教養講座」タンベ
ル体操
11月21日～12月19日の月曜日、午

「高齢者健康・教養講座」タンベ
ル体操
11月21日～12月19日の月曜日、午

市民相談

市民相談室
●本庁舎1階☎21-8764
◇一般市民 月～金曜日、午前8時30分～正午・午後1時～5時

◇不動産 11月18日(金)午後1時～4時
◇分譲マンション管理 11月28日(月)午後1時～4時
◇許認可各種届出 11月25日(金)午後1時～4時

子ども教育相談センター
崇善小学校北側☎36-6013
◇来所 月～金曜日、午前10時～午後5時

◇ヤングメール相談(青少年専用)
☎y-soudan@. 返信に数日かかります。
◇福祉会館 追分1-43☎33-2333

◇障がいがある方の相談
●障がい福祉課☎21-8774
◇手話案内☎35-5770 金曜日、午前9時～午後0時30分



博物館

〒254-0041 浅間町12-1-41
☎33-5111 FAX31-3949
休館日 7.14.21.28日

■平塚郷土史入門講座

・近世金目川の治水と利水
11月13日(日)午前10時～11時30分。講堂。

■須賀の水運とその繁栄

11月27日(日)午前10時～11時30分。講堂。

■ろばたばなし

11月20日(日)、午後1時20分と3時。展示室1階相模の家。

■プラネタリウム

★見えない光で宇宙をさぐるー活躍するJAXAの天文観測衛星ー
11月6日(日)までの土・日曜日、午前11時と午後2時。200円。18歳未満

11月6日(日)までの土・日曜日、午前11時と午後2時。200円。18歳未満



星々のみちびき

大雄山参道二十八宿灯

11月19日(土)～平成24年1月15日(日) 特別展示室

かつて中国や日本で用いられた古い星座名を冠した道標……。南足柄市の大雄山最乗寺。その参道に建っている道標になぜ星があるのか。私たちが星のつながりとは。
★現地見学 大雄山参道の星宿燈を歩く会 12月11日(日)午前10時～午後3時30分。30人(抽選)。
往復はがきで**必要事項**を11月30日(水)までに博物館へ。
★学芸員ギャラリートーク 11月26日(土)・12月4日(日)ほか、午後3時～4時。自由参加。
☎ 博物館 ☎33-5111

堂。30人(抽選)。
往復はがきで**必要事項**を①は11月11日(金)②は17日(木)③は30日(水)までに博物館へ。
■**寄贈品コーナー**
平塚の地盤と活断層
災害への備えとして、私たちの住む平塚の地盤について紹介します。
11月29日(火)まで。

文化スポーツまちづくり振興財団

〒254-0045 見附町15-1(市民センター1内)
☎32-2237(文化事業課)

■湘南ひらつか地域対抗囲碁大会

平成24年1月15日(日)。ラスカホール(宝町1-1)。地区公民館区域ごとの10人編成のチーム。一人2000円、高校生以下1000円。昼食付き。

中央図書館

〒254-0041 浅間町12-1-41
☎31-0415 FAX31-9984
休館日 7.14.21.28.30日

■中央図書館11月の特集展示

・「読書週間にちなんで」
11月29日(火)まで。2階貸出室。
■特別展示「オズボーンコレクション 復刻世界の絵本」
神奈川県と平塚市の交流事業です。美しい挿絵とともに絵本発達の歴史をお楽しみください。
11月3日(祝)～12月11日(日)。中央図書館1階ホール。
■ブックスタートの予約受け付け
①11月9日(水)北図書館②27日(日)中央図書館③12月3日(土)中央図書館④12月14日(水)南図書館、いずれも午前10時～11時30分。市内在住

美術館

〒254-0073 西八幡1-3-3
☎35-2111 FAX35-2741
休館日 7.14.21.28日

■伊東深水 時代の目撃者

11月27日(日)まで。一般900円、高校生・大学生500円。
■**アーティストin湘南II**
11月27日(日)まで。一般200円、高校生・大学生100円。
■**市民アートギャラリー**
11月3日(祝)～6日(日)わたしたちの絵画展/9日(水)～13日(日)小図工作品展/16日(水)～20日(日)平塚・大磯・二宮地区中学校美術展/23日(祝)～26日(土)平塚市保育園児絵画展/29日(火)～12月4日(日)旭彩会水彩画展、オリンパススイコークラブ湘南支部写真展。

■北図書館 こども人形劇

「和尚さんと小坊主」(写真)など。劇団たかつ人形座。11月20日(日)、(午前の部)午前10時30分(午後の部)午後2時。神田公民館集会所(田村3-12-5)。先着各130人。
■**映画会**
日曜日午後2時。中央図書館3階ホール。11月6日(こども映画会)世界の昆虫王大決戦(実写)/13日(こども映画会)なかよしキッズのタイムスリップ(実写)/27日(一般映画会)石井のおとうさんありがとう(実写)。

今、会いたい作品

伊東深水「指」



1922年(大正11年)

ある世代以上の方は、切手になったこの作品に見覚えがあることでしょう。深水の出世作であり、代表作でもある本作は、夏の夕暮れ、結婚して3年足らずの新妻が縁台に腰掛け指輪を見つめる様子が描かれています。本作で、深水は美人画家としての名声を得ます。振り返れば「美人画」は、数年前に文部省の展覧会で卑俗で好色的として評論家から批判を受けました。素肌に薄ものというシースルーの魔力、官能性、新妻を近くから見る構図。批判を受けそうに見える本作を、何が救っているのでしょうか。描いたのは遊女でも花街の女性でもなく愛妻でした。指輪を見つめる視線には叙情や物語が感じられ、何よりたそがれに鼻緒やかんざしが浮かぶ瞬を巧みな技法で描き切った技術、夕顔や団扇の醸す季節感があります。当時新聞小説で、自分の意思を持って生きる女性が多く描かれ人気を得ていました。深水は時代の息吹の中で自我と個性のある女性を描き、近代美人画を開花させたといつてよいでしょう。(文：平塚市美術館学芸員 勝山) ※美術館 ☎35-2111 「伊東深水展」は11月27日(日)まで開催しています。

花菜層

ハウチワカエデ



紅葉(こうよう)と言って思い浮かぶのは真っ赤に色付いた「モミジ」ではないでしょうか。赤子の手のひらの様なイロハモミジや、それよりもやや大型のオオモミジなどが一般的ですが、もっと特徴のあるモミジも日本には自生しています。そのうちの1つ、ハウチワカエデは天狗の持つ羽団扇に葉形が似ているところから名付けられました。美しい葉が月のように眺めるにふさわしいので「メイゲツ(名月)カエデ」の別名もあります。初夏の新緑から秋の紅葉まで、四季折々に観賞することのできるモミジです。当園には、尾根見の池の南岸に数種類の園芸種とともに植栽されています。

花菜ガーデンで見られる場所：紅葉重ねのほり約70品種のカエデ(モミジ)が観賞できます。日本固有種のほか、海外を自生地とする品種も植栽しています。

☎ 花菜ガーデン 寺田縄496-1 ☎73-6170